

# 山形大学附属学校園だより

# 六 稜

2010. 3. 12

【発行】  
山形大学附属学校園

【印刷】  
坂部印刷株式会社



北海道東北ブロックPTA研修会山形大会 講演「しあわせの条件～親と子の絆を考える」  
奈良・西の京 薬師寺（法相宗大本山）執事 大谷徹英 師



附属学校運営部長  
貝 山 道 博

## 附属学校運営部の設置とその役割

平成二十一年四月より四つの附属学校園を統括する「附属学校運営部」ができました。これは四つの附属学校園を一体的に運営していくためです。運営部は一部長・二副部長の体制となっております。

この背景には、附属学校のあり方をめぐる文部科学省はじめ国民の厳しい目があります。附属学校本来の役割を改めて問い直し、その上で必要なところは時代の変化に合わせて変えていくことになりました。幸いにも、山形大学では他大学に先駆けてこの問題に取り組み、改革を始めております。その一つは幼稚園・小中学校の収容定員削減で、もう一つは各学校園の校園長の専任化です。附属学校には、教育実習と教育に関する大学との共同研究という二つの重要な使命があります。これらについても見直しが求められております。現在、附属学校園はもとより、大学の教職員のお力をお借りして、改革を進めております。また、附属学校園間および附属学校園・大学間の連携も強化する必要があります。地域のニーズへの対応も積極的に進めなければなりません。やるべきことは多々あります。

こうした課題を解決し、山形大学附属学校が地元から愛され、他に誇るべき存在となるために、運営部は一丸となって頑張っていく所存ですが、これをよく成し遂げるためには、何よりも附属学校教職員およびPTAの皆さま方のご協力、ご支援が不可欠です。今後ともお力添えのほどよろしくお願ひします。



## 附属中学校

7月24日～27日に行われました県中学校総合体育大会を経て開催された東北中学校体育大会に剣道女子団体、男子個人、柔道男子個人、そして水泳男子メドレー、個人が出場するなどの活躍が見られました。また、10月末にはグラウンド改修工事が完了し、11月16日に結城学長と大学関係者の皆様のご臨席のもと「グラウンド改修を祝う会」を行いました。附中生一同、授業、部活動、学校行事等で大切にに使わせていただきたいと思います。また、最後に7月16日～17日に全国国立大学附属学校園北海道東北地区PTA研修会山形大会が盛会のもと終了いたしました。山形大学附属学校PTAの皆様がこの場をお借りして御礼申し上げます。

### 主な行事と日程

- 6月26日 PTA全役員会(約100名参加)
- 7月16日～17日 全国国立大学附属学校園北海道東北地区PTA研修会山形大会
- 10月末 グラウンド改修工事完了
- 11月12日 合唱コンクール(テルサホール)



## 特別支援学校

小学校・中学校における特別支援教育の視点も重要視され、通常学級における支援にも本校のノウハウが活用されています。特に、附属学校で学ぶ幼児児童生徒のみならず、市内の小学校通常学級への支援も行っています。

高等部では作業学習で制作した製品を販売するバザーを行っています。今年は、山形大学小白川キャンパス内、ジャスコ南店内で行うと共に、蔵王地区祭りにも出店しました。多くの方々に製品を購入いただくと共に温かい励ましの声を頂き、社会へ巣立つ高等部生にとっての力になっています。今年予定していました学習発表会は、新型インフルエンザへの対応のため公開しませんが、来年は是非本校にお越しください。

### 主な行事と日程

- 4月25日 PTA総会
- 5月30日 運動会
- 6月(第2週)学校公開週間(オープンスクール)
- 11月1日 蔵王地区祭り出店
- 11月5日～6日 ハートバザー-IN山大
- 11月27日 公開研究会
- 12月18日 学習発表会
- 2月23日 ハートバザー-INジャスコ南店

山形大学附属学校園だより「六稜」第二号を発刊することができました。六稜とは、雪華を表し、北国山形でたくましく、清らかに生きていく附属学校園の子どものたちを象徴しています。だからこそ、すべての学校園の校長にもなっています。さて、昨年度からの附属学校園の改革が一段落し、運営部の先生方のご指導のもと、大学の附属として、大学との深いつながりをより強くし、四つの附属学校園が、それぞれ自校の特色を生かしながら、幼小中連携、そして特別支援学校との連携の実をあげています。附属学校園がますます充実し、輝きを放ち始めています。今後とも、それぞれの学校園をお互いに認め合いながら、より密接な「つながり」を求めています。

- 編集委員
- 尾形 千春・小野寺明美・幼
  - 船山 朋子・赤羽 三枝・小
  - 佐藤 昌子・澤根 景子・中
  - 阿部由美子・古瀬美代子・特



## 附属幼稚園

「風景のよい環境によい子が育つ」を合言葉に、あいさつ運動の推進や保育サポートなど保護者の皆様の協力を得ながら、保育環境づくりと保育内容の充実に取り組んできました。

今年度より「ふようおやじ会」が発足し、池の整備や雪囲い等の手伝い、芋煮会の企画運営をしていただきました。池に玉石が敷かれると、子ども達は早速裸足になって入っていました。水の冷たさや心地よさ、石の感触を直に感じながら、石を魚に見立てたつりごっこが始まるなど新たな遊びも生まれていました。こうした活動を通して、家庭と園との連携が深まり、より豊かな園生活が送れることを願っています。

### 主な行事と日程

- 5月9日 親子園外保育
- 6月3日 春の公開研究会
- 7月11・12日 年長児蔵王台宿
- 9月19日 運動会
- 10月31日 秋の保育を語る会
- 12月9・16・17日 ステージフェスティバル
- 2月26日 年長児を送る会



## 附属小学校

附属小学校では、「みりの班」という縦割り班があり、日常的に異学年交流を大切にしています。その班で清掃に取り組みたり、千歳山に助け合って登ったりしています。そのような取り組みの中で、上学年生は下学年生のことを思いやり、下学年生は上学年生のよいところを受け継ぎ、自分達が大きくなったときに、後輩達につなげていくことができるようになってきています。

来年度から新1年生の入学定員が102名となるなど改革もありますが、すてきな附属小学校を創っていきたくと考えています。

### 主な行事と日程

- 4月9日 入学式
- 4月22日 PTA総会
- 6月18・19日 春の公開研究会
- 9月14日 大運動会
- 11月13日 秋の公開研究会
- 2月26日 6年生を送る会
- 3月19日 卒業式

## 編集後記

チャレンジ第一歩『しょうおやじ会』

(附属幼稚園PTA会長 菊地 康倫)

いつも当園のPTA活動へのご理解とご協力、誠にありがとうございます。

当園のPTA活動は、全員参加型と有志参加型の活動があります。後者の活動としては、創刊号で紹介された『ふようなつまつり』、昨年度始まった幼稚園の活動を補助する『保育サポート』そして今年度は『ふようおやじ会』を発足しました。幼児期は皆さんもご存知のとおり親子が一番密接に関わる時期です。そして小川園長先生、岡村副園長先生からは、ことばの環境は非常に大切ということをお話頂きました。つまり『お父さんってすごいんだよ』『お母さんの料理おいしいね』という言葉は、子どもの心を鍛え、強く豊かにするというのです。まず、小川をきれいにし木にネームプレートを掛け、次に園の協力を得て、全学年で園庭での卒業会実施、『おやじ会』が料理担当という形で、おやじの味に舌鼓、『パパ、おいしかったよ!』そして、冬の雪囲い及び清掃。子供たちの反応に私たちが力をもらいました。今後、新体制になっていく上で、私達PTAは先輩方の築かれた伝統を守りつつ、子供たちが附属学校出身と胸を張って誇れるように、一生懸命努力していきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



「フェスティバル」での「コマ」



幼小交流会



新しい時代にあったPTA活動

(附属小学校PTA会長 佐藤 善三郎)

附属小学校のPTAは平成十八年度に大幅な組織改革を行いました。改革の基本は保護者の皆さん全員に気軽に参加していただくようなかたちにし、時代に合った活動を取り入れていくことというものでした。まず改革がなされる二年前からPTA皆さんのご意見を聞き取る為アンケート調査をして何度も改革のための会議が開かれ、又先生方からもご意見を頂戴して時間ばかりでしたが携わった皆さんの熱意で素晴らしいものができました。

総務、保体、広報、研修、安全の五部と評議員会、監事、母親委員会、アルバムの組織です。前組織と大きく違うものに安全部の創設があります。毎月安全部の皆さんと保護者の方たちが学校周辺の安全指導やバスの乗降指導などに取り組んでおられます。

PTAの皆さんには子供たちのため、学校のために素晴らしい活動をしていただいております。より良い附属PTAにするために私たち自身も成長できるような活動になればと願っております。



秋の大運動会



全国かかしまつり準特選 「みんなでたいこをたたこう」 特別支援学級中学生部 1年制作



山形子ども造形展 絵画の部特選 「どんな おはなが さくのかな」 幼稚園年長組 大場 遼



小中合唱交流会 (附小5・6年に合唱を披露する附中2年生)

特別支援学校活動紹介

(特別支援学校PTA会長 山下 弘子)

本校のPTAは、専門部として企画研修部(主に校内外の研修計画)、文化部(P.T.A.だよりの発行や趣味の教室)、保体部(運動会の手伝いや親子ボウリング大会)があります。会員の皆様は必ず専門部に所属し、協力いただいております。保護者四十八名、教員二十九名の七十七名が今年の会員数です。子ども達も私達も力が入るのは校外バザーです。今年度は山大小白川キャンパス内で二回、ジャスコ南店で一回行いました。がんばった成果である製品を是非買ってお越してください。お待ちしております。

最後に、七月十六日〜十七日に行われた全国国立大学附属学校園北海道・東北地区PTA研修会が無事に終わったこと、これに向けて三校の方々とお話しする機会が増え、四附を近くに感じられました。これからも近いお付き合いをよろしくお願いたします。



バードバザー



特別支援学級と中学校との音楽交流会



特別支援学級の生徒の作品展示 (於: 中学校)

附属学校園の役割とPTA

(附属中学校PTA会長 遠藤 靖彦)

今年度は、最後の「北海道・東北PTA研修会」の大会を山形で盛大に開催することができました。ご協力をいただきましたPTAの皆様そして大学の関係者の皆様から感謝申し上げます。

今年PTA会長の職を預かり、その関わりでPTAや教育に関する様々な会議に出席させていただきました。その中で必ず話になるのは子供と親の心の教育と成長の問題でありました。今の時代親にはわかりにくい多くの問題が子供の周りを取り巻いています。親が子供の

変化を察知することも簡単ではなくなっている現状もあるようであります。また、先生がその問題を察知することも容易でなくなっているのは事実です。授業や勉強の質だけではなく、子供の成長や心のケアについても地域の模範となるよう親と先生とが連携したPTA活動を推進していく必要があると感じます。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いたします。



公開研究会